

成田の舞台裏

普段何げなく利用している施設やサービス。その裏側では、どのようなことが行われているのでしょうか。ここでは、普段は見るできない成田のさまざまな舞台裏を紹介します。

第5回 選挙

～皆さんの意思が届けられるまで～

7月10日、参議院議員通常選挙の投票日を迎えました。本市の当日有権者数は10万4,758人。今回は投票日当日にどのようなことが行われているのか、その舞台裏をお伝えします。

午前7時。市内39カ所の投票所でまず行うのが、投票箱の空箱確認。箱の中に不正な用紙などが入っていないことを、各投票所で最初に投票する人に確認してもらいます。その後、午後8時まで13時間にわたって投票が行われますが、その間には投票所ごとの投票状況を2時間ごとに市ホームページに掲載したり、広報車で市内を巡回したりして、投票の啓発を行っています。

午後8時。投票を締め切ると、各投票所の立会人と責任者は、投票箱とともに開票作業の会場である市体育館へ。今回は投票終了から39分後には全ての投票箱が集まりました。午後9時15分。開票作業が始まります。13×8センチメートルの投票用紙を1枚1枚慎重に取り扱うため、会場には独特な緊張感が漂います。作業は、専用の分類機を使って記載内容ごとに振り分けますが、記載枠からはみ出しているものや読み取りが困難なものなどは職員目で審査していきます。午前1時7分。投票者数4万8,431人分の集計が完了。県選出議員の本市の投票率は46.19パーセントで、前回は5.20ポイント上回りました。

あまり知られていませんが、開票作業はアリーナ席から参観できます。どのように行われているか見てみたい人は会場へ足を運んでみてください。次回の選挙は12月に予定されている市長選挙。市政に皆さんの1票を投票しましょう。



①



②



③

- ①集計を迅速化する分類機
- ②開票作業はアリーナ全体を使って
- ③参観する人の姿も

大切な1票を生かしてもらうために

市選挙管理委員会事務局 ありさか しんたろう 有坂 慎太郎さん

皆さんの1票は、今後の生活に影響を与える大切な1票です。投票日当日に仕事などの予定がある場合や、感染症対策として混雑を避けたい場合などは期日前投票も利用できますので、棄権せずに投票所へ足を運んでもらいたいと思います。



舞台裏の様子をYouTubeでも

右のQRコードから成田市公式YouTubeチャンネルにアクセスして、スマートフォンやタブレットなどから、取材の際に撮影した動画やスライドショーを見ることができます。



成田市公式
YouTubeチャンネル

編集後記

7月の終わりのことです。小学6年生のめいから電話がありました。内容は「夏休みの宿題で、働いている人にインタビューしているから答えてほしい」とのこと。仕事内容などの質問に回答した後、近況の話など正月以来の会話を楽しみました。夏休みの宿題。私は8月末に慌てて片付けていた記憶がありますが、めいはしっかり者のようです。最近は連絡を取る頻度は減りましたが、久しぶりだったからこそ、ひときわ成長を感じた出来事でした。

令和4年8月15日号 No.1465

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは簡デンスウェブの登録商標です

*本紙は8月4日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。



リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。